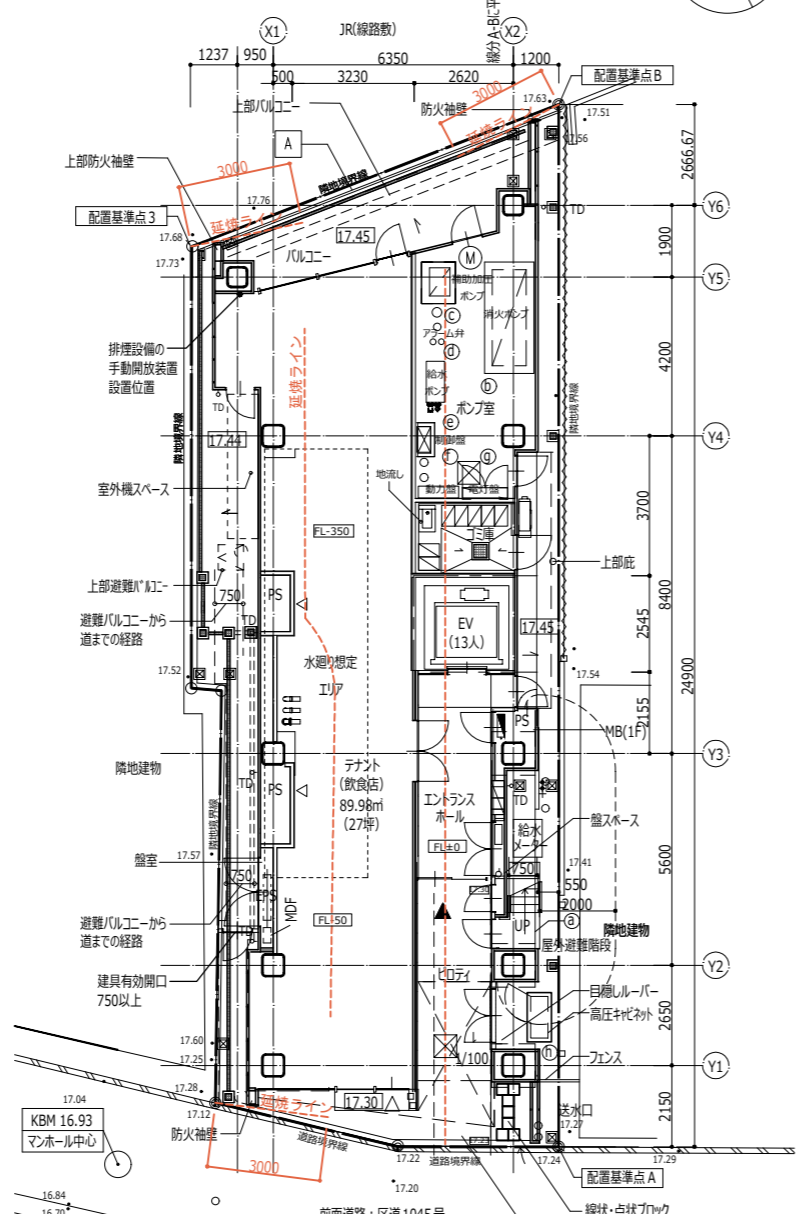
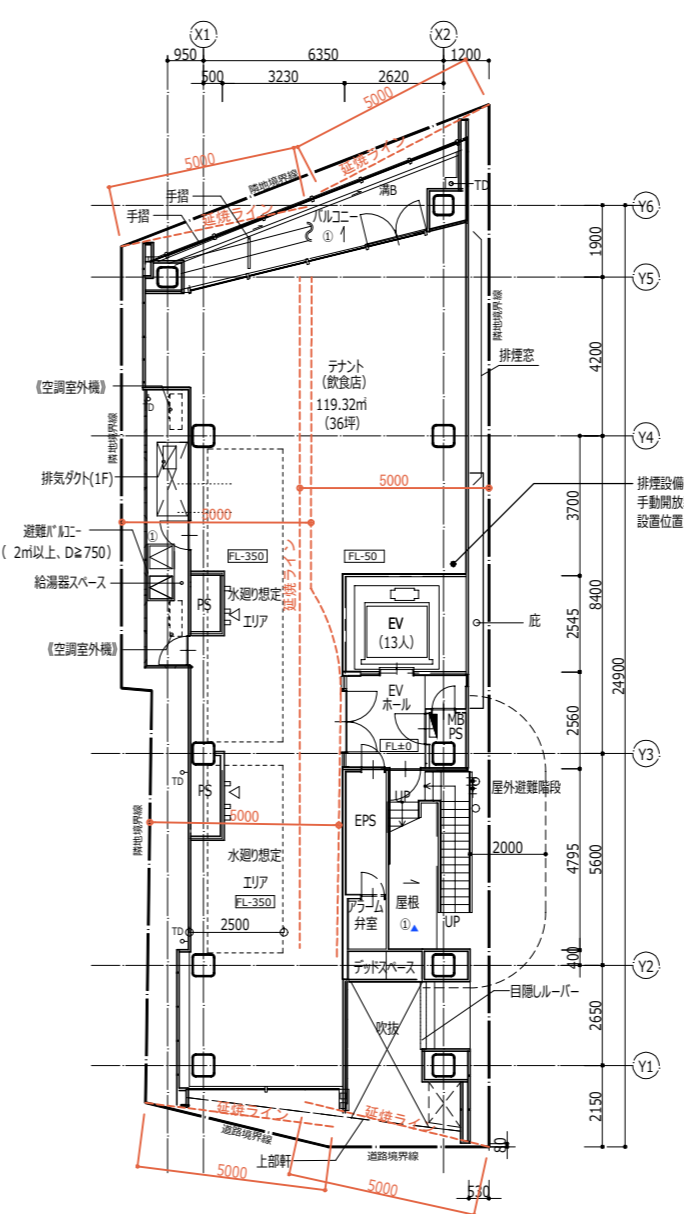


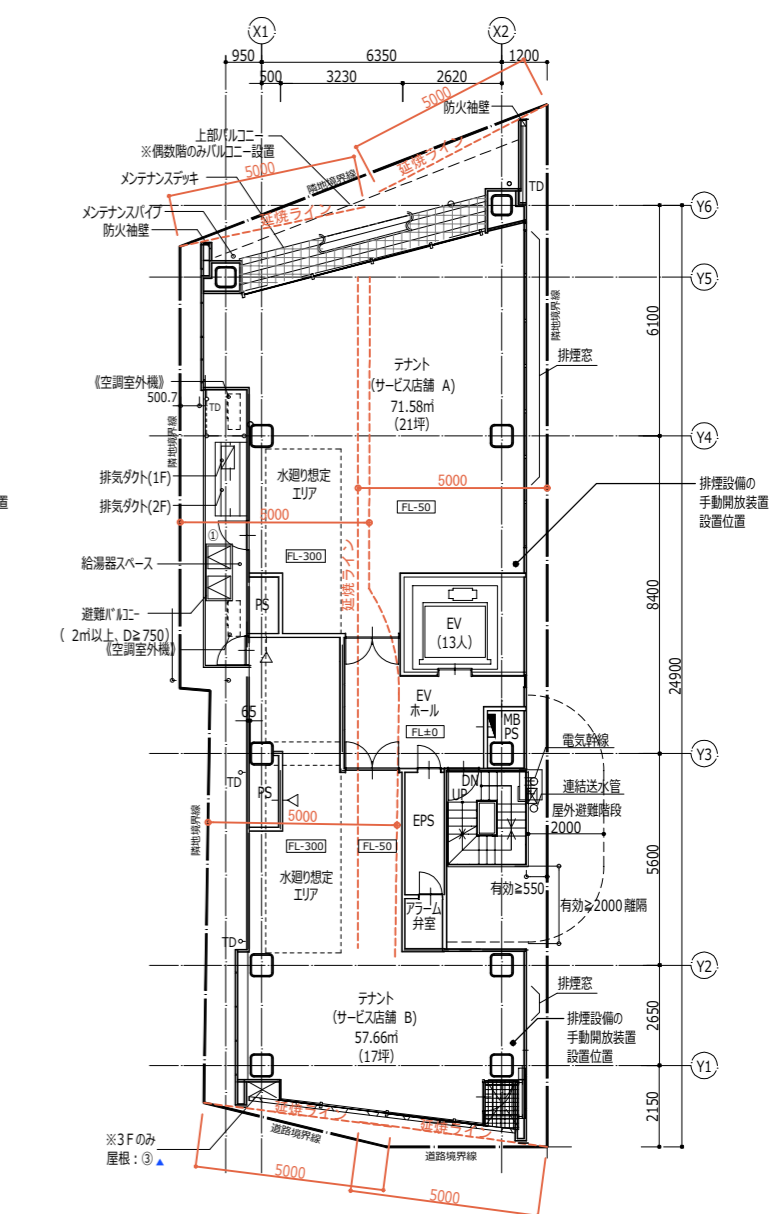
ピット図



1階平面図



2階平面図



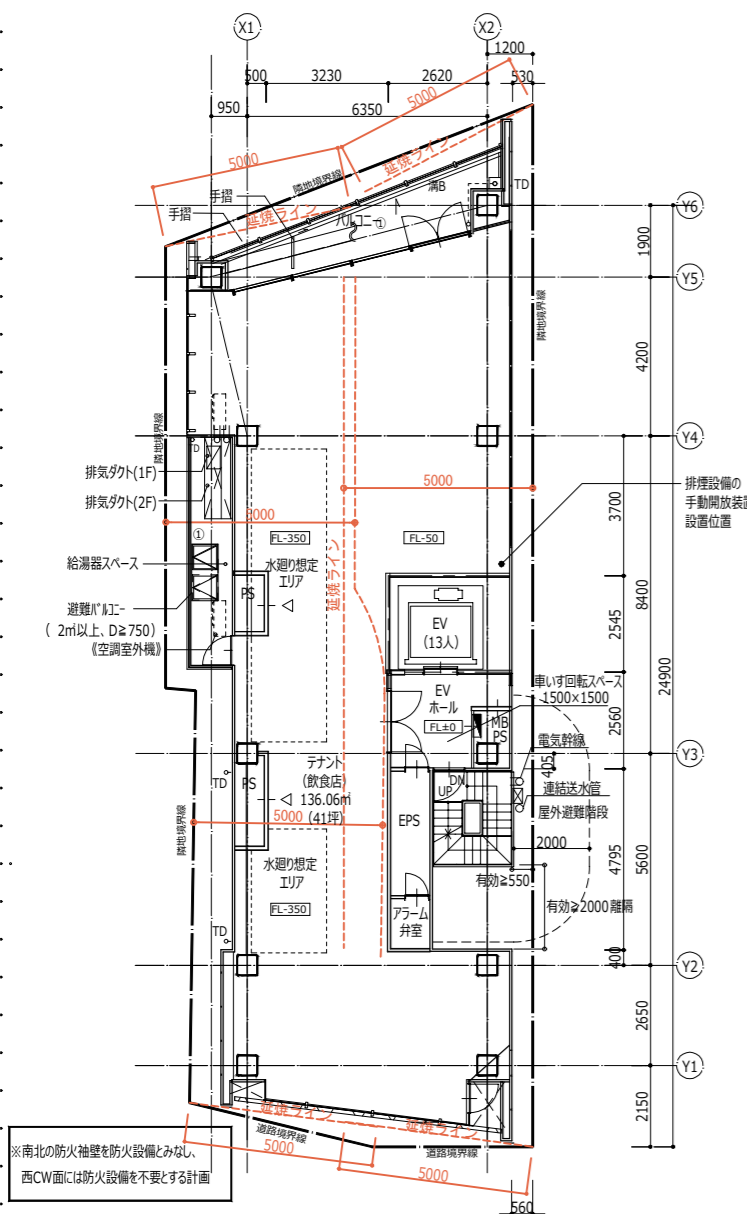
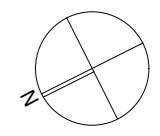
3~9階平面図

※北側の防火扉を防火設備とみなし、西CW面には防火設備を不要とする計画

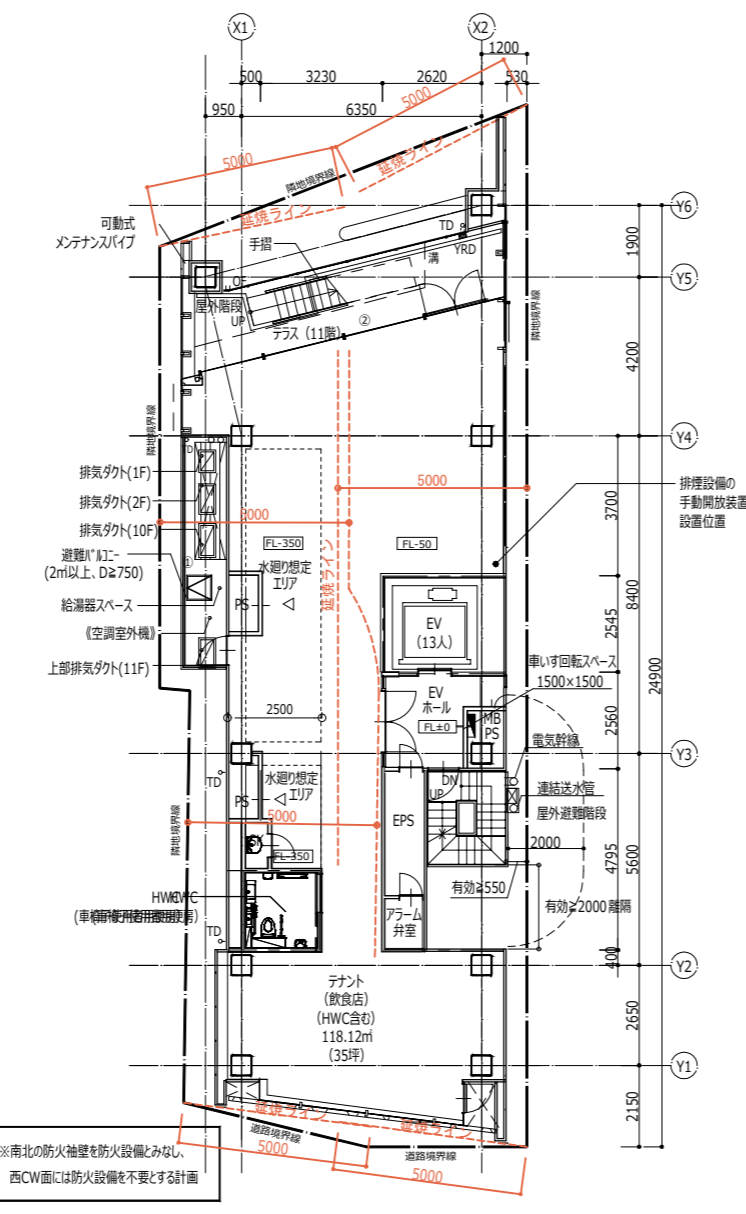
※北側の防火扉を防火設備とみなし、西CW面には防火設備を不要とする計画

※3Fのみ
※北側の防火扉を防火設備とみなし、西CW面には防火設備を不要とする計画

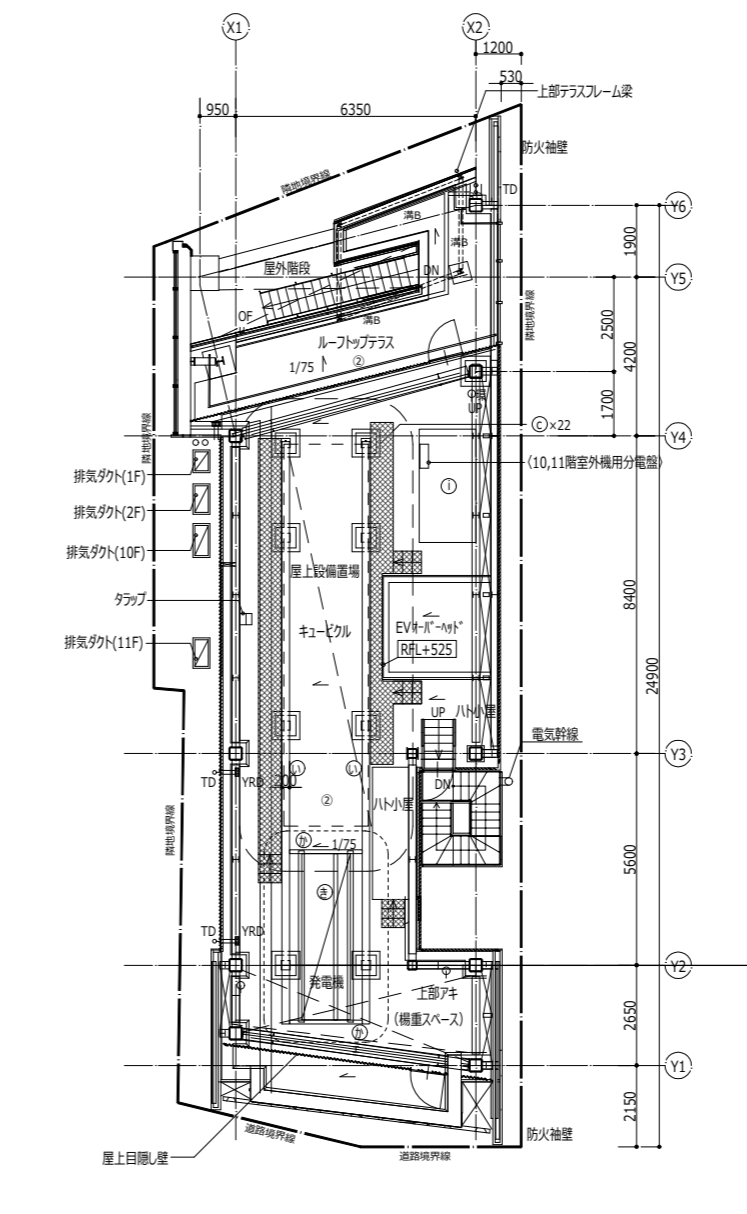
■凡例 (ピット)		■凡例 (各階共通)		記号		仕様		材料	
XXXX	1FLからの耐圧版構造体天端レベルを示す	00.00	計画レベル[m] *室内の高さは仕上げレベルを示す。 *数値はT.P.を示す。	①	基礎	⑦	RC立上防水巻上	○	丸境: SUS製 φ19
⊠	基礎: W800×L800×H800		KBM=16.93 / 設計GL=17.20 / 1FL=17.30	②	基礎	⑧	RC床仕上げ	□	注意喚起表示・誘導表示: SUS点検
⊡	透水孔: VP150φ/2			③	基礎	⑨	RC床下	TD	堅積: 塩ビ+アクリル系塗装。特記なき限り100φ
⊢	透気孔: VP100φ			④	基礎	⑩	RC床下	RD	排水ドレイン 特記なき限り100φ
⊣	人通路: 600φ (南側上部 SUS製タラップ 19φW400×250付)			⑤	基礎	⑪	RC床下	YRD	横引き排水ドレイン 特記なき限り100φ (落ち葉キャッチャー付)
⊤	タラップ: SUS製 19φW400×250 @300			⑥	基礎	⑫	RC床下	VC	ベントキャップ200φ: SUS製(防鳥ガバリ)指定色焼付塗装 フード付 (平型)
⊥	段数=(ピット内天井高さH-600)/300 (端数切上)			⑦	基礎	⑬	RC立上防水巻上	OF	オーバーフロー管: SUS製 40φ
⊦	排水溝: W150, H30			⑧	基礎	⑭	RC立上防水巻上	溝A	水勾配: 特記なき限り1/100
⊧	雨水吸引管: W150φ 1/100			⑨	基礎	⑮	RC立上防水巻上	溝B	排水溝W300: 排水モルタル金コテ
⊨	透気金物 アルミ100 SGP100φ: L=図示 エルボ付 (第一機材VC-B1 100程度) <設備工事>			⑩	基礎	⑯	RC立上防水巻上	溝C	排水溝W100: 排水モルタル金コテ、防鳥ガバリ付置 (防鳥ガバリ) W150 (巻上層上、11F付ラスのみ) 各棟の水勾配は1/200程度とする。
⊩	既存地下躯体			⑪	基礎	⑰	RC立上防水巻上	①	ウレタン系塗膜防水 (防漏仕様)
⊪	水勾配: 特記なき限り1/200 (ピット)			⑫	基礎	⑱	RC立上防水巻上	②	屋根保護防水絶縁断熱工法 (B1-2)
				⑬	基礎	⑳	RC立上防水巻上	③	金属屋根: AL- R. 2.0t



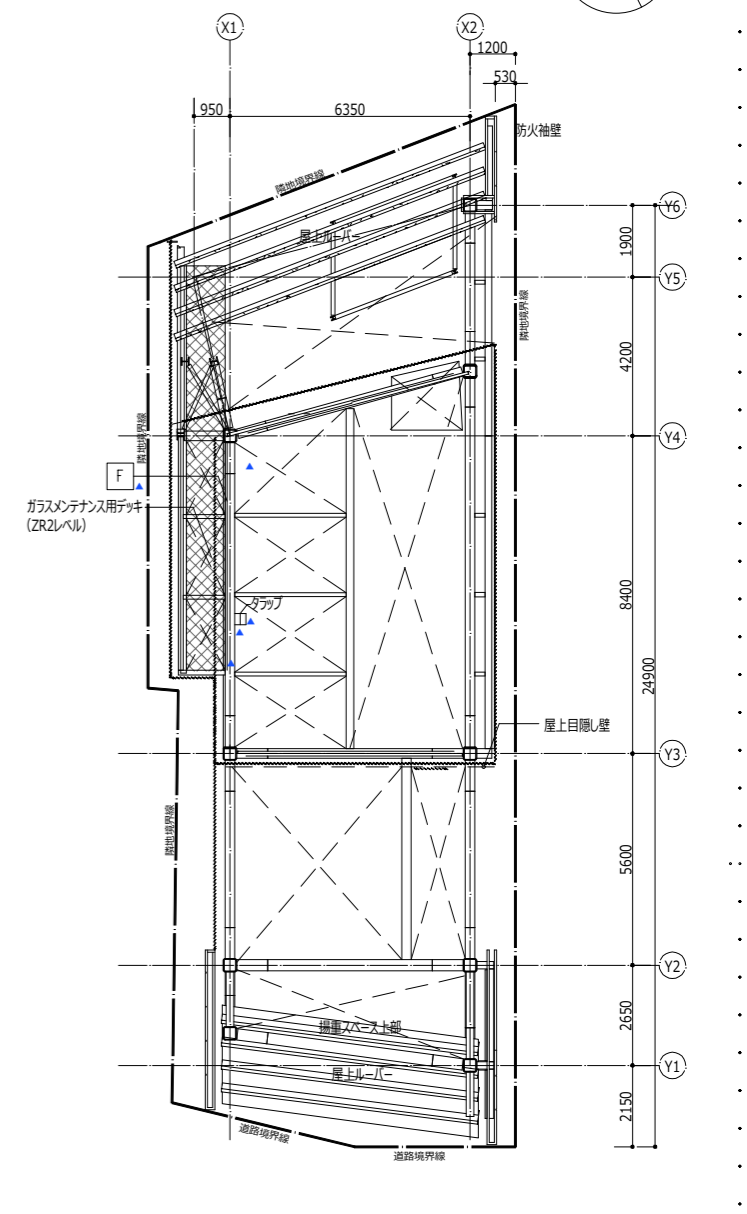
10階平面図



11階平面図



R階平面図

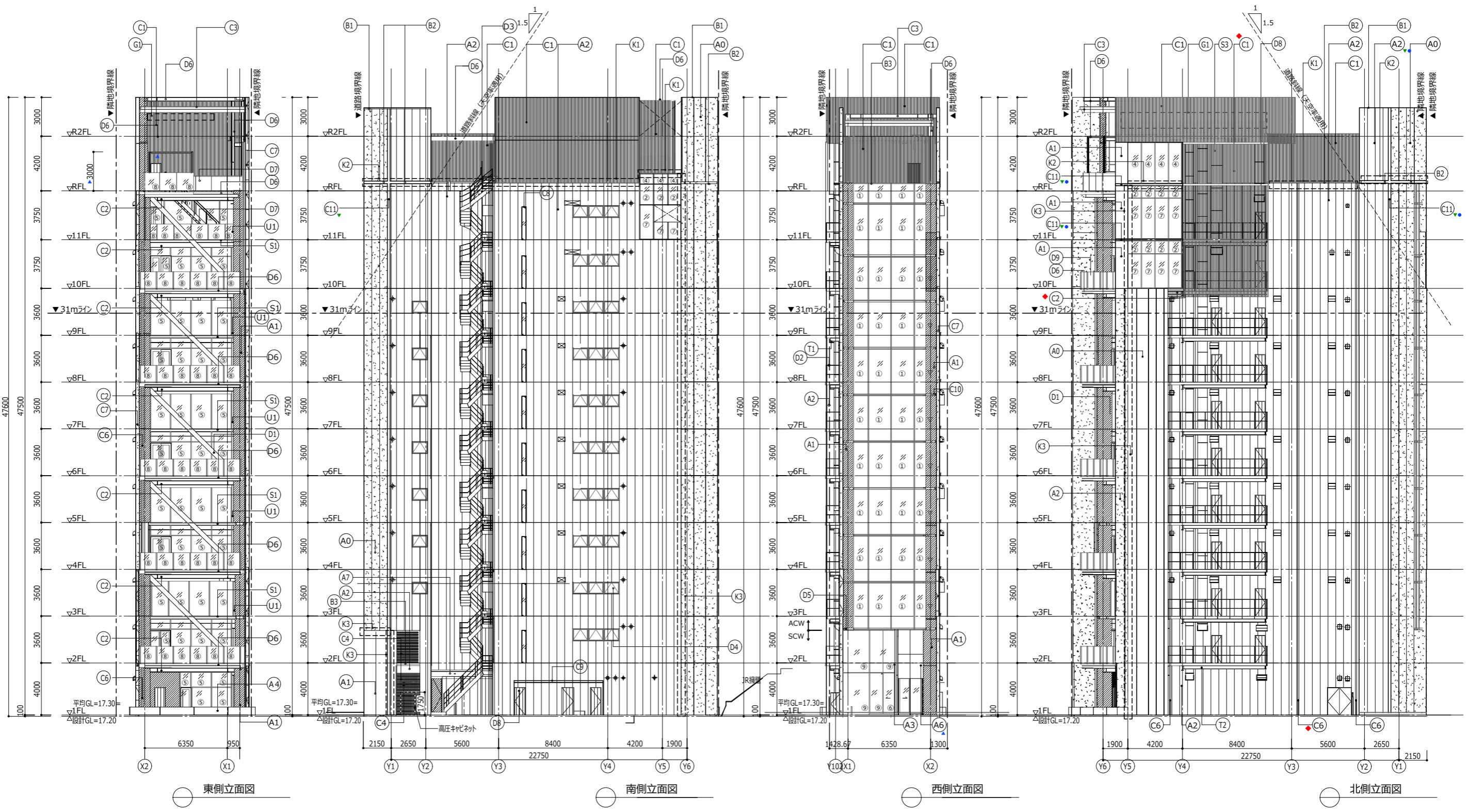


屋根伏図

■凡例 (ピット)		■凡例 (各階共通)		記号		仕様		材料	
XXXX	1FLからの耐圧版構造体天端レベルを示す	00.00	計画寸法[m] *室内の高さは仕上げレベルを示す。 *数値はT.P.を示す。	①	基礎	⑦	RC立上防水巻上	○	丸境: SUS製 φ19
⊠	釜場: W800×L800×H800		KBM=16.93 / 設計GL=17.20 / 1FL=17.30	②	基礎	⑧	RC上防水巻上	□	注意喚起表示・誘導表示: SUS点検
⊡	透水孔: VP150φ/2			③	基礎	⑨	RC上防水巻上	TD	堅積: 塩ビ+アクリル系塗装。特記なき限り100φ
⊢	透気孔: VP100φ			④	基礎	⑩	RC上防水巻上	RD	排水ドレイン 特記なき限り100φ
				⑤	基礎	⑪	RC上防水巻上	YRD	横引き排水ドレイン 特記なき限り100φ (落ち葉キャッチャー付)
⊣	人通路: 600φ (南側上部 SUS製タラップ 19φW400×250付)	⑥	H鋼 200×200×8×12 ×10,500L	⑫	基礎	⑬	RC上防水巻上	VC	ベントキャップ200φ: SUS製(防鳥ガラリ)指定色焼付塗装 フード付 (平型)
⊤	タラップ: SUS製 19φW400×250 @300 段数=(ピット内天井高さH-600)/300 (端数切上)	⑭	H鋼 200×200×8×12 ×15,400L	⑮	基礎	⑯	RC上防水巻上	OF	オーバーフロー管: SUS製 40φ
		⑰	H鋼 200×200×8×12 ×6,500L	⑰	基礎	⑱	RC上防水巻上	水勾配	水勾配: 特記なき限り1/100
		⑱	H鋼 200×200×8×12 ×2,500L	⑲	基礎	⑳	RC上防水巻上	溝A	排水溝W300: 排水モルタル金コテ
		㉑	H鋼 150×150×7×10 ×15,200L	㉑	基礎	㉒	RC上防水巻上	溝B	排水溝W100: 排水モルタル金コテ 防鳥ガラリ設置 (防鳥ガラリ) W150 (巻上層上、11Fテラスのみ)
		㉒	H鋼 200×200×7×10 ×2,000L	㉒	基礎	㉓	RC上防水巻上	①	ウレタン系塗膜防水 (防漏仕様)
		㉓	H鋼 200×200×7×10 ×4,400L	㉓	基礎	㉔	RC上防水巻上	②	屋根保護防水絶縁断熱工法 (BI-2)
○ <透気>	透気金物 アルミ100 SGP100φ: L=図示 エルボ付 (第一機材VC-B1 100程度) <設備工事>	㉔	H鋼 200×200×7×10 ×4,400L	㉔	基礎	㉕	RC上防水巻上	③	金属屋根: AL- RC 2.0t
▨	既存地下躯体			H-1	ハト小屋	①	RC立上防水巻上		
←	水勾配 特記なき限り1/200 (ピット)								

【凡例】			【ガラス凡例】		
(A0) 押出成形セメント板 60t 600W 縦張 [OXハイブリッドカラーコーティング工法]	(C1) 有孔折板[高耐食メッキ鋼板+ポリエスチル樹脂静電粉体塗装]	(G1) ブレース [溶融亜鉛メッキ+リン酸処理加工]	(G1) サイン設置位置	(1) LowE12-A8-HT12	
(A1) 押出成形セメント板 60t 600W 縦張 [アクリル系塗装ソリッド]	(C2) ガルバリウム鋼板 1.6t 溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂塗装ソリッド	(G2) 手摺: H=1,150	(S1) メンテナンスバルコニー: ファインフロア張 (支持鉄骨: 溶融亜鉛メッキ+アクリル系塗装ソリッド)	(2) FL8	
(A2) 押出成形セメント板 60t 600W 縦張 [素地+クリア塗装]	(C3) 大型アルミルーバー-500×500H アクリル系塗装メタリック ※詳細図参照	笠木: St-FB6×50 2段	(S2) 出入口バルコニー: グレーチング張 (支持鉄骨: 溶融亜鉛メッキ+アクリル系塗装ソリッド)	(3) R6	
(A3) 大判磁器質タイル 6t 800W [ヒココーポレーション ビームハール工法]	(C4) アルミ目隠しルーバー[アクリル系塗装 (ブラック) DAIKEN S8830同等] 開口率50%以上	支柱: St-FB9×50@900[アクリル系塗装ソリッド]	○ <ベントキャップ>: [アクリル系塗装] (外壁同色)	(4) PT8 + PT8	
(A4) RC壁: アクリル系塗装ソリッド	(C5) 水切サ: アルミカットパネル[フッ素樹脂焼付塗装ソリッド]	屋外避難階段: 溶融亜鉛メッキの上 アクリル系塗装	<ダクト>: [アクリル系塗装] (外壁同色)	(5) FL10	
(A6) アルミ樹脂複合板3.0t [鏡面 ALPOLIC/fr RF同等]	(C6) 縦樋: 塩ビ製+アクリル系塗装 (バンド共)	排煙窓: アルミ+ガラス製防火認定品 アクリル系塗装ソリッド (ブラック) ※詳細図参照	▼ タッチマリオン	(6) PT12	
(A7) RC壁: ウレタン塗膜防水	(C7) 袖壁小口: アルミカットパネル[フッ素樹脂焼付オシロックス塗装ソリッド]	金属屋根: AL-PL 2.0t曲げ加工 アクリル系塗装ソリッド (表面グライツ吹付)	代替出入口 (側面)	(7) LowE8-A6-HS8	
(B1) 笠木: アルミ製既製品 [アクリル系塗装ソリッド (ブラック)]	(C8) アルミサッシュ: 電解二次着色	屋外露出鉄骨: 溶融亜鉛メッキの上アクリル系塗装ソリッド ※図示以外の範囲は溶融亜鉛メッキまで	□ <排気フード>: [アクリル系塗装] (外壁同色)	(8) PT6+PT6合せ	
(B2) アルミ樹脂複合板3.0t [鏡面 ALPOLIC/fr RF同等]	(C9) スチール庇 4500: フッ素樹脂塗装ソリッド	手摺: St-FB支柱+エキスパンドメタル[溶融亜鉛メッキの上アクリル系塗装ソリッド] ※階段詳細参照	○ セラミック系耐火被覆材 (屋外仕様) 平滑仕上げ	(9) FL19 (飛散防止フィルム張)	
(B3) 笠木: AL-PL2.0t加工 [アクリル系塗装ソリッド (ブラック)]	(C10) 西側OWフィン: アルミ型材[アクリル系塗装ソリッド] ※詳細図参照	スチール庇: アクリル系塗装ソリッド	○ 固定式メンテナンスパイプ		
	(C11) アルミ型材の上フッ素樹脂塗装ソリッド (200W, 200のくり型)	ガラス手摺: St-FB16×60支柱 溶融亜鉛メッキの上アクリル系塗装ソリッド ※詳細図参照	○ 可動式メンテナンスパイプ		

【凡例】 (建築物と工作物間の仕様)			
(K1) クリアランス不要 (屋上)	(K2) クリアランス200mm必要 (屋上)	(K3) クリアランス不要 (袖壁)	(K4) 仕切り材200mm必要 (袖壁) ※仕様は(C1)参照



IN A 株式会社 IN A 新建築研究所 〒231-0292 東京都大田区東大田1-1-1 TEL: 03-3761-1111 FAX: 03-3761-1112 E-MAIL: info@ina.co.jp	発行 2024.03.29	作成 2024.03.29	代表設計者 一級建築士 第349260号 三井 達也	プロジェクト名称 (仮称) 神南一丁目計画新築工事	P C 6300405	
	承認 小堀(補)	担当 小堀(補)	設計者(一級建築士) 号 第315907号 徳井 洋文	図面名称 立面図	縮尺 A1:150 1/A3:300	図面番号 A-20
	変更履歴 ● 変更指図による修正 ▲ 23.10.31修正 ▼ 24.02.14修正					
	備考 1. 本図は、設計図書の一部として作成されたものである。					

